6月10日（土）に行われた「坂祝町青少年町民の集い～元気なさかほぎ発表会～」で青少年の主張発表を行った三品晏梨さんの作文です。

青少年の主張
Opinions of Teenager
発表作文

「個性を認め合える社会へ」

中学校　３年　三品　晏梨

皆さんは、自分たちの個性を大切にできていますか。また、周囲の人々の個性を大切にできていますか。私は、今の社会では一人一人の個性を互いに大切にできていないと感じています。なぜなら、色々な人がいる中で、皆と違う人が白い目で見られるようなことがあったり、私達自身も周りと同じにしなくてはいけないと思うことがあったりするからです。それは、コロナ禍で不安定な社会となり、人々は安定した日常を求めるため、異質なものは遠ざけてしまうことが増えたことが原因だと考えます。

私は今、生徒会の一員として、坂祝中学校をより良くしようと頑張っています。学校でも守るべき規則は守り、ルールの中でも自分らしく振る舞っています。そんな私も、十五歳になるため、化粧やオシャレに興味があります。そのため、自分のしたい化粧、自分のつけたいアクセサリー、自分の着たい服を着て、出かけました。しかし、知り合いの大人に言われたのは、「中学生がそんなことをしていてはいけない。勉強をしなくては。」というものでした。私は、「中学生」だから、という理由で自分のしたい服装や容姿「個性」を否定されたため、不快な気持ちになりました。

その後母に相談すると、「自分のしたい様にすることは良いこと。自分は自分。自分らしく生きなさい。」と言われました。嬉しかったです。その後、「でも、相手のことを考えることも大切だよ。」と言われました。私は、周囲の人の気持ちを考えながら、自分らしく生きることが大切だと思いました。

また、個性を大切にできる社会にしたいと思う理由は他にもあります。私の学校では、令和四年度から制服にスラックスやブレザーが導入され、女子生徒もズボンを着用できるようになりました。ジェンダーレスの認識が広まる社会の流れに乗った、良い変化だと思います。しかし、現代の日本では理解が追いついていないところもあります。私が以前、名古屋へ行った時に、ある男性を見ました。その男性は、長いスカートのようなものをはき、ネイルをし、化粧をしていました。周りは男性のことを何か珍しいものを見るような目で見ていました。私はおかしいと思いました。男性だからという理由で好きな服装や化粧をする人が変な目で見られるのは、個性を大切にできていないと思ったからです。きっとこのようなことは日本各地であると思います。

令和に入り、社会は明らかに変わり始めました。これまでの普通が形を変え、新たな普通が日々、つくり出されています。そんな現代社会で、大切なのは他人の「個性」を肯定する意識を持つことです。たしかに、周りと合わせることも時には大切で、合わせることができるのは日本人の良さでもあります。しかし、一人でも多くの人が自分らしく、「個性」を主張できるよう、まずは、身近にあるジェンダーレスへの理解を深めることも大切です。

私の学校でもきっと相手の「個性」を認められていない場面があると思います。そのため、全校生徒が互いの「個性」を認め、自分の「個性」を大切にできるようにしたいです。自分らしく生活できる生徒が一人でも増えることを願って、明日も私は生徒会の一員として学校へ向かいます。

※原文表記のまま掲載しています。